

## 事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第3年度分

## 1 事業所の概要

事業者の名称	株式会社LIXIL		
事業所の名称	株式会社LIXIL 八乙女拠点		
事業所の所在地	仙台市泉区八乙女中央1-1-23		
主たる事業	金属製品製造業		
事業者の該当要件	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
	<input type="checkbox"/>	条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
	<input type="radio"/>	条例第15条第1項に該当する一般事業者	

## 2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	76.0 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	64.96
	目標年度	2022 年度	目標排出量	72.1 t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	61.65
			削減率	5.00 %	削減率	5.09 %
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	86.0 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	73.5
			削減率	-13.16 %	削減率	-13.15 %
	排出量等の増減理由	コロナ感染対策のために窓の開放による喚起を励行してエネルギー使用量が増加。				
	第2年度	2021 年度	排出量	84.0 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	71.79
			削減率	-10.53 %	削減率	-10.52 %
	排出量等の増減理由	拠点在籍者に対する省エネ教育等の周知活動の着手により2020年度に比較して多少排出量が削減。しかしながら、建屋自体の断熱に対する脆弱性から外気温により電力使用量が大きく影響を受けることも判明。				
	第3年度	2022 年度	排出量	83.0 t-CO <sub>2</sub>	排出原単位	70.94
削減率			-9.22 %	削減率	-9.21 %	
排出量等の増減理由	基準年度の2019年度の電気使用量が気候の影響で少なかったために、2020年度には13%の増加となりました。しかしながら、2021年度、2022年度では取り組みにより電気使用量の削減ができました。最終年度は2020年度から4ポイント強の削減になりました。					

## 3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	50 %	目標年度	100 %	
	第1年度	50 %	実施状況の説明等	取り組みの実施についてはアクションプログラムの実施が第1年度の2020年12月のために第2年度以降の計画となっています。	
	第2年度	93 %	実施状況の説明等	温室効果ガス削減AP推進委員会を発足して基本対策の取り組みを開始。	
	第3年度	73 %	実施状況の説明等	デマンド管理等の新たな取り組みが定着。しかしながら消費機器に対する管理台帳の更新や管理標準に基づく記録の作成が出来ていなかった。	

様式第2号

選択対策の実施状況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	燃費性能の良い車両の計画的導入		実施済
	エコドライブ教育実施		実施済
	デマンド管理		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
その他の対策の実施状況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	製造拠点および物流拠点を対象にISO14001認証を取得。	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	グループとして、SBTおよびRE100に加盟。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	【国内】 全国の営業拠点や、工場・物流センターのモデル拠点を対象に再生可能エネルギーを導入。現在導入拠点拡大中。 (2020年10月時点:営業22拠点、工場・物流各1拠点)	実施済
	SBTやRE100等の国際的な気候変動イニシアティブなど脱炭素経営への取組	【海外】 水栓金具を生産している全工場(主に欧州)で、カーボンニュートラルを達成。	実施済
	その他地球温暖化を防止する対策の実施	【全体】 老朽化設備をエネルギー効率の良い省エネ設備に入れ替え。	実施済